

令和 7 年
第 2 回
評 議 員 会 会 議 録

5 月 2 2 日（木）

国立市土地開発公社

令和7年 第2回 国立市土地開発公社評議員会会議録

1. 開催日 令和7年5月22日(木)

2. 場所 国立市議会 委員会室

3. 出席者

(1) 評議員 10名

会長	青木 健	副会長	山口 智之
	石井 伸之		高柳 貴美代
	大谷 俊樹		古濱 薫
	中谷 絢子		青木 淳子
	矢部 新		石井 めぐみ

(2) 理事 7名

理事長代行	副理事長		
	雨宮 和人		
出納理事	宮崎 宏一	常務理事	北村 敦
理事	藤崎 秀明	理事	大川 潤一
理事	黒澤 重徳	理事	中島 広幸

(3) 監事 2名

監事	三田 徹	監事	吉田 公一
----	------	----	-------

(4) 事務局 3名

事務局長	立川 浩平	庶務係長	土方 智紀
庶務係員	餅茱 里子		

4. 議題

協議事項4 令和6年度国立市土地開発公社決算

5. 会議時間 開会 午前10時00分
閉会 午前10時25分

10時00分開会

臨時議長

(石井めぐみ君)

本日の国立市土地開発公社評議員会の開催に当たりまして、評議員の皆様におかれましては、6月の市議会定例会を控え、なにかとご多忙のところをご出席いただき、ありがとうございます。

本日の評議員会は、先日の市議会臨時会での、協議会等委員の選出が行われたのちの、初めての評議員会でございます。

従いまして、会長が選任されるまでの間は、年長の私が進行役を務めさせていただきます。

よろしくご了承のほどお願い申し上げます。

ただいまの出席評議員は10名でございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから令和7年第2回国立市土地開発公社評議員会を開会いたします。

日程第1「会長の選任について」を議題といたします。

会長の選任につきましては、国立市土地開発公社定款第23条第1項の規定によりまして、評議員の互選により選任することとなっております。

立候補又は推薦される方がおりましたら、うけたまわります。

(「青木健評議員を推薦します。」との声あり。)

ただいま、青木健評議員を会長に推薦する旨の発言がありましたが、ご異議ありませんか。

(「異議なし」との声あり。)

ご異議なしとのことでございますので、青木健評議員を会長に選任することに決しました。

ここで、暫時休憩いたします。

議長

(青木健君)

休憩を閉じて、議事を再開いたします。

ただいま、会長にご選任をいただき、誠にありがとうございます。今後のまちづくりを進める上で、土地開発公社が果たす役割は、大変重要であることを認識しております。

皆様のご協力をいただきながら、評議員会を運営していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、日程第2「副会長の選任について」を議題といたします。

副会長につきましても、定款第23条第1項の規定によりまして、評議員の互選により、選任することとなっております。

立候補または推薦される方がおりましたら、うけたまわります。

（「山口評議員を推薦します。」との声あり。）

ただいま、山口評議員を副会長に推薦する旨の発言がありましたが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり。）

ご異議なしとのことでございますので、山口評議員を副会長に選任することに決しました。

次に、日程第3「会議録署名評議員の指名について」を議題といたします。

議長において、「高柳評議員」と「矢部評議員」の両名を指名することにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり。）

ご異議なしと認め、高柳評議員と矢部評議員の両名を指名いたします。

日程第4「会期の決定について」を議題といたします。

会期を本日一日とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」との声あり。）

ご異議なしと認め、会期を本日一日といたします。

日程第5「理事長代行あいさつ」でございます。理事長代行、よろしくお願い申し上げます。

理事長代行

(雨 宮 和 人 君)

おはようございます。本日は、国立市土地開発公社評議員会を招集しましたところ、皆様におかれましては、お忙しい中にもかかわらず、お集まりいただきましてありがとうございます。

さて、国立市議会議長のご推薦に基づき、令和7年5月17日付けで新たに当公社評議員を委嘱させていただきました。任期は2年間となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、評議員の委嘱状につきましては、今回から机上に置かせていただく形へ変更させていただいておりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

改めまして、本日ご協議いただきますのは、国立市土地開発公社の令和6年度決算でございます。

令和6年度の事業におきましては、市からの先行取得依頼に基づき、市道南第30号線（南工区）用地を1件取得し、また、公社が保有している都市計画道路3・4・8号線用地の一部を1件処分いたしました。

なお、本決算につきましては、さる5月14日に三田監事及び吉田監事に、監査を実施していただいたところでございます。

詳しい内容につきましては、事務局から説明いたしますので、よろしくご協議のほどをお願い申し上げます。

終わりに、皆様には更なる当公社へのご支援、ご協力をお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

ありがとうございました。

議 長

(青 木 健 君)

ありがとうございました。

続いて、日程第6 協議事項4「令和6年度国立市土地開発公社決算」を議題といたします。

当局から、説明を求めます。事務局長。

事 務 局 長

(立 川 浩 平 君)

それでは、協議事項4「令和6年度国立市土地開発公社決算」につきまして、ご説明申し上げます。

最初に、1 事業報告書でございます。

3 ページ、令和6年度決算の概況でございますが、用地の取得が1件、用地の処分が1件ございました。

次に、4 ページの(2) 評議員会協議事項等でございますが、表記のとおり評議員会を3回開催し、6件の協議事項につきまして、協議いただいたところでございます。

5 ページおよび6 ページでは、(4) から(6)、令和7年3月31日現在の評議員、役員および職員に関する事項を記載しております。

次に7 ページの2. 業務でございます。

令和6年度におきましては、まず、市道南第30号線(南工区)用地を1件取得いたしました。面積は102.71平方メートル、価格合計が1千988万214円でございます。

また、都市計画道路3・4・8号線用地の一部売払いが1件ございました。面積は278.20平方メートル、価格合計が4千618万1千200円でございます。

次に、8 ページの3. 会計でございます。

(2) の長期借入金概況でございますが、借入先は国立市で、令和6年度の借入額は1億7千101万4千374円、償還額は1億9千618万1千200円、未償還残高は2億1千743万3千174円となっております。

次に、2 決算報告書でございます。

11 ページから14 ページは、令和6年度収入支出決算書でございます。

11 ページ収益的収入の決算額は、4千619万1千116円、12 ページ収益的支出の決算額は、4千656万4千315円、13 ページ資本的収入の決算額は、2億1千719万5千574円、14 ページ資本的支出の決算額は、2億1千655万9千714円となっております。

15 ページから19 ページは、決算明細書でございます。

収益的収入は、款1 事業収益の項1 公有地取得事業収益4千618万1千200円、および款2 事業外収益の項1 受取利息9千91

6円でございます。

16ページ・17ページの収益的支出は、款1事業原価の項1公有地取得事業原価4千618万1千200円、項2附帯等事業原価545円、および款2販売費及び一般管理費の項1販売費及び一般管理費38万2千570円でございます。

18ページの資本的収入は、項1固定資産売却代金4千618万1千200円、項3長期借入金1億7千101万4千374円、19ページの資本的支出は、項1公有地取得事業費1千987万214円、項2事業管理費50万8千300円、および項4長期借入金償還金1億9千618万1千200円でございます。

次に、3 財務諸表について、ご説明いたします。

23ページをお開きください。

令和6年度国立市土地開発公社損益計算書でございます。

1の事業収益から2の事業原価を差し引いた額が事業総利益となり、事業総利益から3の販売費及び一般管理費を差し引いた額が事業損失の、38万3千115円でございます。

この事業損失に4の事業外収益を加え、5の事業外費用を差し引いた額が経常損失となり、最終行の当期純損失が37万3千199円となるものでございます。

次に、24ページをお開きください。

令和6年度国立市土地開発公社貸借対照表でございます。

表左側の上段、資産の部でございますが、1の流動資産は合計で2億3千22万8千64円、2の固定資産は800万円で、最終行の資産合計が、2億3千822万8千64円となるものでございます。

次に、表右側の上段、負債の部でございますが、1の流動負債は合計で6千743万3千174円、2の固定負債は合計で1億5千万円、負債合計が、2億1千743万3千174円となるものでございます。

次に、表右側の下段、純資産の部でございますが、1の資本金は800万円、2の準備金は合計で1千279万4千890円、純資産合計が、2千79万4千890円となるものでございます。

表右側の最終行、負債・純資産合計が、表左側の資産合計と同額の、2億3千822万8千64円となるものでございます。

次に25ページの財産目録でございますが、資産合計と、負債・純資産合計が、ともに、2億3千822万8千64円となっております。

このうち、純資産の2準備金、1千279万4千890円が、ページ下段の準備金処分計算書にありますとおり、前年度繰越準備金から当期純損失を差し引いた当年度末未処分準備金となり、翌年度への繰越準備金として処分するものでございます。

次に26ページでございますが、令和6年度国立市土地開発公社キャッシュフロー計算書でございます。

1は、事業活動によるキャッシュフローで、事業活動にかかる収入と支出を示してございます。

計、2千542万9千487円となっております。

2は財務活動によるキャッシュフローで、計、マイナス2千516万6千826円となっております。

3の現金及び現金同等物の増加額は、1と2の合計となり、26万2千661円となります。

4の現金及び現金同等物の期首残高は1千290万7千569円となりますので、5の現金及び現金同等物の期末残高は、1千317万230円となっております。

次に、4 附属明細書でございます。

29ページは、事業報告書で説明いたしました長期借入金の明細と、資本金の明細でございます。

最後に、31ページに、令和7年5月14日に実施いたしました、決算監査の意見書の写しを添付してございます。

以上が、令和6年度国立市土地開発公社決算についての説明となります。

なお、協議事項に関する説明資料といたしまして、「令和6年度末公有用地明細表」をあわせて提出しております。

それではよろしく、ご協議くださいますよう、お願い申し上げます。

議長 (青 木 健 君)

説明が終わりました。

引き続きまして、監査結果について、三田監事より、ご報告を願います。

監 事 (三 田 徹 君)

監事の三田でございます。

監事を代表しましてご報告いたします。

吉田公一監事と私、三田徹兩名は、令和7年5月14日午前10時から、国立市役所3階第2会議室において、国立市土地開発公社会計規程第35条第2項の規定に基づき、令和6年度の会計決算について、事業報告及び会計帳簿、証拠書類並びに財務諸表の監査を実施し、正確・適正に執行されておりましたことをご報告申し上げます。

議 長 (青 木 健 君)

報告が終わりました。

それでは、ご質疑、ご意見をうけたまわります。

大谷評議員。

評 議 員 (大 谷 俊 樹 君)

貸借対照表の流動負債の内容を教えてください。

事 務 局 長 (立 川 浩 平 君)

24ページ、貸借対照表の上段の流動負債、6千743万3千174円についてでございますが、こちらにつきましては、借入金のうち、今後1年以内に返済する額を流動負債に入れております。1年以上借入れを継続するものは、固定負債1億5千万円となっております。補足となりますが、29ページに今の説明がございます。29ページの2. 長期借入金明細書の1番右の列に期末残高というものがございます。こちらに借入額が2億1千743万3千174円、カッコの中に6千743万3千174円の額が入っているかと思えます。この欄外の左の米印にあります通り、決算日から1年以内に返済予定のある長期借入金として、流動負債に区分しております。

評 議 員 (大 谷 俊 樹 君)

ありがとうございます。分かりました。これは国立市から借りているという理解でよろしいですか。

事務局 長

(立 川 浩 平 君)

借入額につきましては、現在、全額国立市の土地開発基金から無利子でお借りしております。

議 長

(青 木 健 君)

ほかに、ございませんか。

なければ、本議題については、これで協議を終了することといたします。

これをもちまして、全日程が終了いたしました。

以上で、令和7年第2回国立市土地開発公社評議員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前10時25分閉会